

2023年度

交通工学会認定TOE資格試験

B類題 論述問題4問

(2問を選択して解答して下さい)

問題冊子

1. 合図があるまで問題冊子は開かないで下さい。
2. 問題は合計2ページ(下書き用紙は含みません)あります。 4問の中から2問を選択し, 解答して下さい。
3. 3ページからなる答案用紙が2部配布されます。答案用紙には, 解答の有無を問わず, すべてのページに氏名および受験番号を必ず記入して下さい。選択した問題番号を記入してから, 解答を論述して下さい。
4. 3問以上解答しても, 採点対象は問題番号の若い順から2問のみとなります。
5. 問題冊子は, 各自が使用したものに限り, 退出時に持ち帰ることができます。
6. 途中退出することができるのは, 試験開始から1時間を経過した後から, 試験終了の15分前までです。



**下書き用紙** ー 切り離さずに用いよ

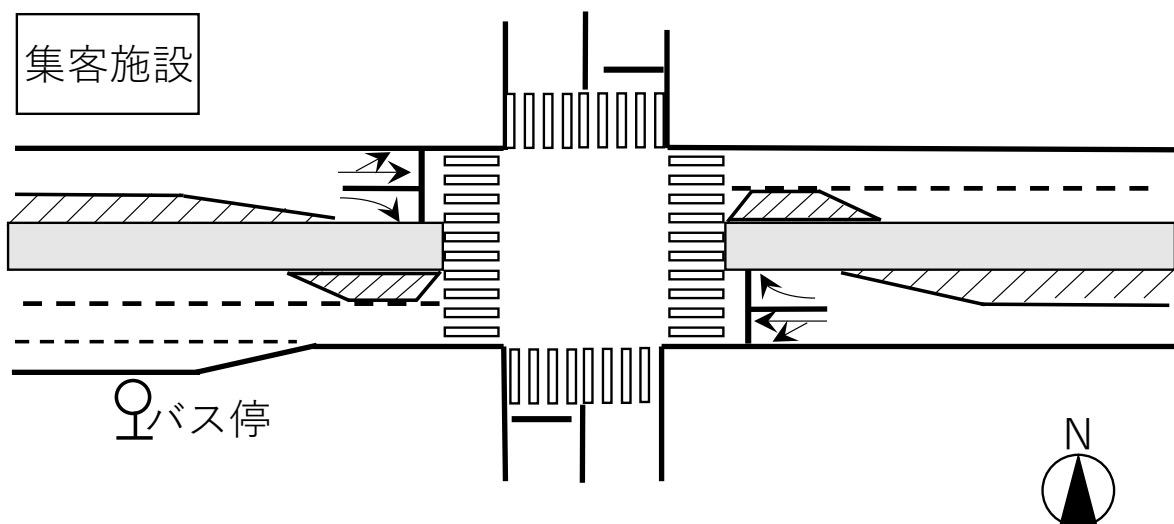
**【問題 1】**

ある地方都市の幹線道路において、平日朝ピーク時間の区間速度が20km/h以下となる渋滞区間(約1,000m、都市部のある路線で信号交差点5箇所)が存在し、いずれかの信号交差点がボトルネック箇所となっていることが分かった。下記について、計1,600字以内で述べよ。

- (1) ボトルネック箇所の特定と渋滞対策を検討するための調査項目と調査の留意点
- (2) 調査結果を用いた渋滞原因と対策検討に関する留意点

**【問題 2】**

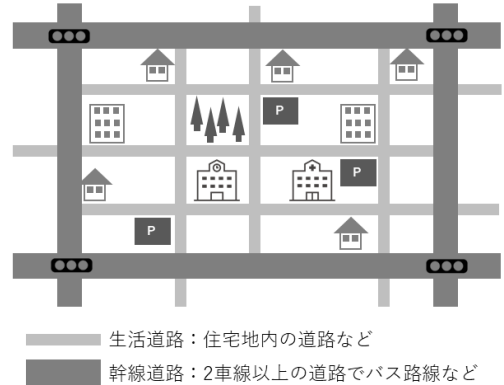
郊外部の集客施設に隣接する4枝の無信号交差点において、出会い頭事故の問題が顕在化しており、交差点改良や制御の見直しが検討されている。本交差点の改良に関して、信号制御、ラウンドアバウトの導入が考えられる。各制御方式の選択に当たって考慮すべき事項について、1,600字以内で述べよ。



【問題 3】

我が国における交通事故発生件数は2005年より減少傾向にあるものの、一般国道や主要地方道、一般都道府県道で構成される幹線道路と比較して、市町村道、その他道路で構成される生活道路における死傷事故件数の減少割合は小さく、依然としてその安全対策が必要とされている。以下の設問に対して、計1,600字以内で解答せよ。

- (1) 生活道路で発生する交通事故の特徴を述べよ。
- (2) 生活道路において、我が国で実施が進む交通安全対策について、期待される効果3つとそのための方策を述べよ。
- (3) 右図で示されるような、中心市街地に位置する通学路等を含む生活空間における交通安全対策を行う場合において、検討の手順と留意点を述べよ。



【問題 4】

都市部の中心市街地において、路上荷さばき車両及び路上駐車による渋滞等が問題となっている。このような中、自動車駐車政策における以下の設問について、計1,600字以内で解答せよ。

- (1) 駐車政策の施設整備（ハード）と交通運用（ソフト）についてそれぞれの概要と特徴を述べよ。
- (2) 駐車政策の手法には、自動車の保管のための対策と、トリップに伴う駐車のための対策があるが、特にトリップに伴う駐車のための対策の概要を説明せよ。
- (3) 路外駐車場計画の策定に際しての留意点を述べよ。
- (4) 路上荷さばき解消のための政策を検討する上での考え方を述べよ。

**下書き用紙** ー 切り離さずに用いよ

**下書き用紙** ー 切り離さずに用いよ

